福井県立美方高等学校
進路指導部通信

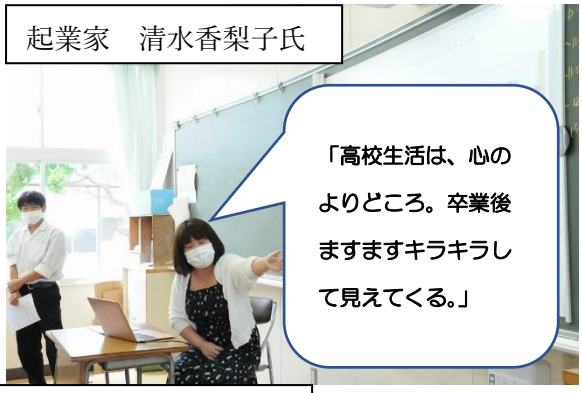
美方の進路

2021年7月号
No.16

～ 青きところ 白きところや 夏の海　高浜虚子 ～

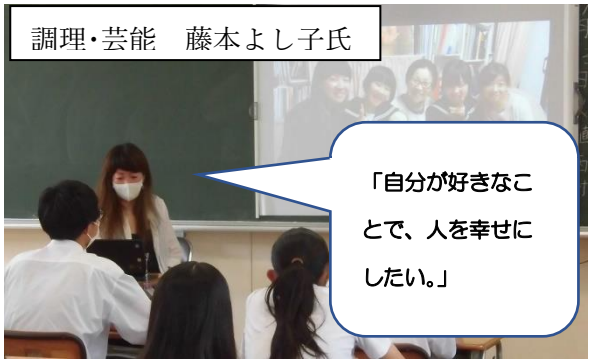
先輩と語る会（7/13 火）　講師:美方高校卒業生

起業家　清水香梨子氏



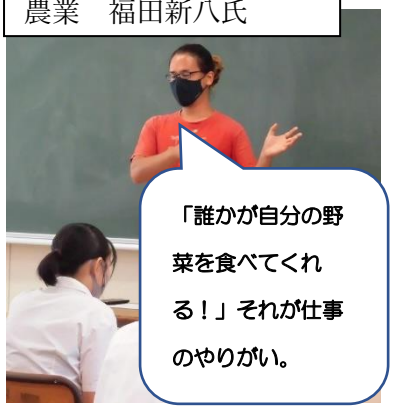
「高校生活は、心のよりどころ。卒業後ますますキラキラして見えてくる。」

調理・芸能　藤本よし子氏



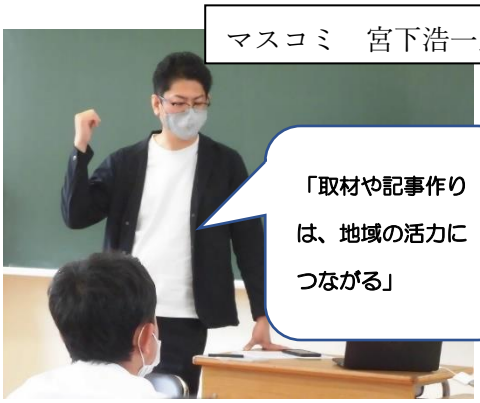
「自分が好きなことで、人を幸せにしたい。」

農業　福田新八氏



「誰かが自分の野菜を食べてくれる！」それが仕事のやりがい。

マスコミ　宮下浩一氏

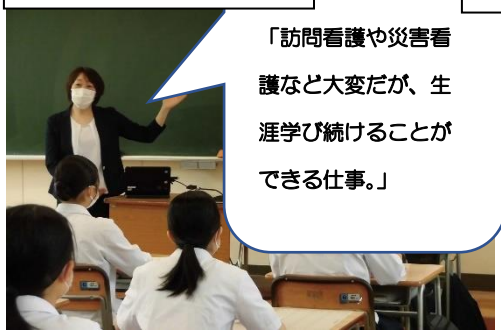


「取材や記事作りは、地域の活力につながる」

銀行業 坊栄二氏

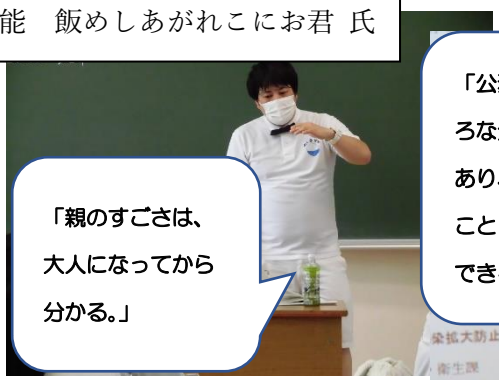
「人生は『自分の手』でしか開けない。」

看護師　小堀和美氏



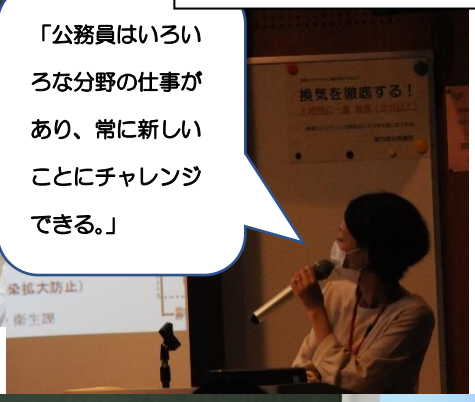
「訪問看護や災害看護など大変だが、生涯学び続けることができる仕事。」

芸能　飯めしあがれこにお君 氏



「親のすごさは、大人になってから分かる。」

公務員　吉村みゆき氏

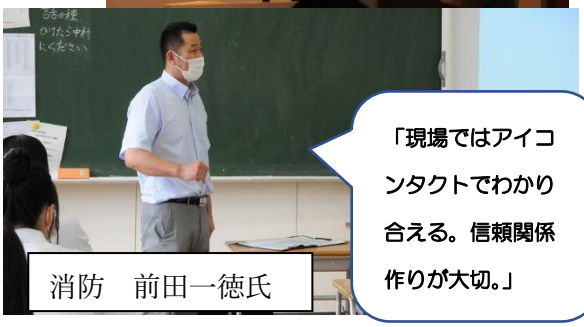


「公務員はいろいろな分野の仕事があり、常に新しいことにチャレンジできる。」

料理人　藤原康寛氏

「今を楽しむことで様々なアイデアが浮かび視野が広がる」

消防　前田一徳氏



「現場ではアイコンタクトでわかり合える。信頼関係作りが大切。」

２年　探究学習相談会　７/１４（水）　講師:若狭湾少年自然の家

～「昨年より、かなりレベルアップしている印象」～

～相談員の方から皆さんへ～

◎　郷土に対する思いが強い。夢を熱心に語ってくれた。しかもSDGSをからめている。

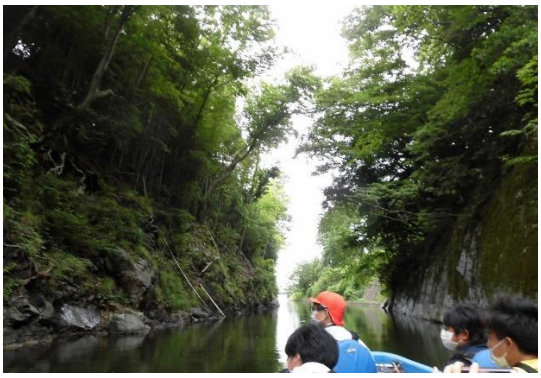
◎　探究への熱量を感じた。その熱さを他人に伝えるには、どうしたらよいか？考えるとプレゼンの質も上がる。

◎　ユニークな探究で具体的な道筋を詳しく語ってくれたので、アドバイスしやすかった。

▲　探究が　〈自分－ネット〉　の中だけで行われている。（内々に籠もる探究）･･･この限界に気づいてほしい。

☆　地域で問題解決にあたっている人、活躍している人に直接きけると、探究の質もレベルアップ、学びの質も深まる。

若狭ソーシャルビジネスカレッジ　７/３(土)、４(日)　主催:若狭路活性化研究所



【参加者感想】「ふるさとの魅力を再発見できた。地域活性化に向け活躍する大人がたくさんいるのだ。渋沢栄一氏の孫、寿一氏の講演では、都会と田舎との比較、今と昔との対比を通して、今、美方地域で生きる意味、可能性について、学びを深めることができた。」

※　次回（9/5日）はカヌー体験もあります。

参加希望者は進路指導部まで